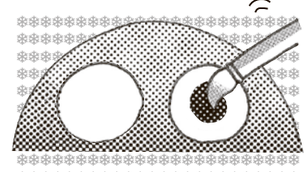
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2024 5

最終盤、合格を掴むための一押し

協力：麻布個人指導会

間もなく12月を迎えます。埼玉県からスタートを切る首都圏の私国立中学入試が迫ってきました。受験生は志望校の過去問演習やこれまでに学習した内容の復習と整理に忙しい日々を送っているはずです。

今回は「効果的な最終盤の追い込み学習」にスポットライトを当て、麻布個人指導会の2名のベテラン講師が今取り組むべき勉強を指南します。まだ時間は十分に残されています。ぜひ参考にして、この受験を成功に導きましょう！

横林（よこばやし）　芳雄（よしお）　講師

中学受験の指導に20年以上のキャリアがあり、麻布個人指導会で送り出した受験生は延べ200名に達する。毎年、難関・上位校へ合格者を輩出する一方で、厳しい状況から巻き返して合格へと導く手腕にも定評がある。

最近の合格実績

筑波大駒場、開成、麻布、女子学院、駒場東邦、聖光学院、慶応普通部、慶応中等部、早稲田、海城、豊島岡女子、吉祥女子、鷗友学園、明大明治、広尾学園、芝、本郷、城北など。

算数　直前期だからこそ焦らずに丁寧に問題に取り組もう！

●受験直前期の今が実力アップのチャンス

受験が間近に迫るにつれて、受験生としての意識が高まってくるお子さんが多くなってきました。集中力が上がっていますので、勉強した内容がこれまで以上に頭に残りやすくなっています。日々の過去問演習・模試の直しに、克服したい不得意単元の勉強を加え、必ずそれに優先順位をつけて取り組みましょう。焦りは禁物、あれもこれもと欲張らず無理のない計画を立てるのが得策です。（細かな修正ができるように週ごとに計画を作るのがおすすめです。）不得意単元は受験までに基本レベルの典型題まで解けるようにするのが目標です。

●過去問演習のペースチェックは必須です

過去問演習が始まって2・3か月経ちます。受験を迎えるまでに第1志望校は10年分、併願校は5年分くらい解き終わることを目標にしてほしいのですが、今の段階でペースが上がっていないお子さんが相当数いると思います。その場合は過去問題集に掲載されている合格者平均点と自分の点数を比較してください。合格者平均点の7～8割に達している場合は今のペースを落とさずに取り組めば良いのですが、3割前後に止まっている場合は過去問演習のペースアップを図りましょう。

●順序立てて解答することでミスは防げる

どのレベルの志望校を目指している受験生にとってもミスはつきものです。問題の読み間違い、計算ミスなど入試ではできる限り避けないといけません。そのためには解答の過程のどこでミスしたか判別することが必要です。文章題は「思考→立式→工夫→計算→解答」と順序立てを意識して取り組みましょう。これができるだけでも、もったいない失点は防ぐことができます。1秒でも早く答えを出したいという気持ちを抑え、あえて意識的に少し時間をかけてみましょう。意識するだけでも問題の読み飛ばしや雑な字が改善されることが多いです。式を立てたら順番通りに力技で計算するのではなく、一時停止して工夫できるか（例えば円周率の計算は3．14の掛け算を最後に行う、共通因数でくくれないかなど）考えてから計算に入ってください。計算を楽にすれば間違いなくミスは減ります。

●苦手に感じる単元から点が取れれば楽になる

最後に、何かしら苦手単元のある全ての受験生に心がけてほしいことがあります。実際の入試でも例えば大問が(1)～(4)まで構成されている場合、後半の難易度が高くても、前半がその誘導になっている（＝基本レベルの設問になっている）場合があります。例えばぱっと見で「立体図形は苦手だから」と早々に諦めず、前半で解けるものは少しでも得点できるようにしましょう。受験では1点で勝負が決します。基本の復習のためには思い切って学年を遡って4年生や5年生のテキストを用いて復習するのも手です。

理科　受験前に時事をチェック！環境問題の理解も深めよう

●気候変動・環境の問題は要チェックです

理科に関しては時事問題の話をしていきます。ここ最近色々な学校で出題されていますが、やはり地球温暖化をはじめとする気候変動の話題は要チェックです。二酸化炭素など温室効果ガスの排出を減らすための取り組み（植林や再生可能エネルギーの利用）は必ず頭に入れておかなければなりません。日本は温室効果ガスの排出量と吸収量をイコールにする「カーボンニュートラル」を2050年までに目指すという目標を発表していますが、南アジアのブータンなど一部の国々では排出量よりも吸収量が多い「カーボンネガティブ」を達成しています。この言葉も覚えておきましょう。植物をテーマにした大問に絡めての出題も考えられます。

●今年は天体に関する話題も豊富

天体に関するニュースも多くありました。先月報道されていた「紫金山・アトラス彗星」の話題も要注意です。9月末に太陽に最も接近し、10月12日に地球に最接近し太陽から離れた見かけの位置にあったため、夕方西の空で観察できるようになりました。

5月には北海道から本州の広い範囲で「低緯度オーロラ」が観測されました。日本では鮮やかな緑ではなく、赤っぽいオーロラが観測されたことが多かったです。これは日本から見えたのが上空高い所の部分で発生したオーロラだったからです。ただ単に現象だけ暗記するのではなく、なぜそうなるのか物事を深く考えてみるようにしましょう。

森（もり）　正樹（まさき）　講師

大手進学塾での経験を活かし、プロ家庭教師として活躍中。文系教科を中心に4教科の指導に対応し、伸び悩んでいる受験生を総合的にフォローアップして着実に成績上昇へと繋げている。

最近の合格実績

慶応中等部、早稲田、渋谷渋谷、青山学院、法政大、芝、城北、世田谷学園、成城、獨協、高輪、山脇、跡見、成城学園、東京都市大等々力、日大豊山、栄東、都立桜修館など。

国語　質と量の両方を追い求めて最終盤の勉強を進めていく

●自分の答案を分析して課題を見つける

6年生は志望校の過去問演習も進んできていると思います。受験者平均点とともに合格者平均点が掲載されている過去問集が多いので、自分の点数がそれを超えているか気になるところではあります。ですが11月終わりの今の時期は、その点数に届いていなくても悲観することはありません。今一番取り組んでほしいのは採点の終わった自分の答案を分析することです。問題は全て解くことができたか、記述問題で誤字脱字はなかったか。基本的なことですが、日々慌ただしい中で勉強を進めているとふと意識から抜け落ちてしまいます。無駄な失点を防ぐのは合格への鉄則です。あとは直しにしっかり時間をかけましょう。

●文章読解は丁寧に、「質」を高めよう

見直しに関してですが、三つのジャンル（物語文・説明文・随筆文）の読み方ができていますか？この時期に対峙した文章に体当たりで取り組んでいるようではいけません。物語文では主人公を中心にしてどのような出来事が起きているか、それをきっかけにして心情がどのように変化していくかを正しく読み取ることが必須です。説明文や随筆文ではテーマと筆者の考え・意見を正しく読み取れているかが肝になります。解き終わった文章であっても設問の直しが済んだ後、文章だけをもう一度読み直してみると自分がどこで読み誤ったかに気づくことができます。入試が近づいてくると文章の読みが雑になってくるお子さんが毎年多く見受けられます。いたって基本的なことですが、今伸び悩んでいるお子さんはもう一度読解の原点に立ち返ってみましょう。

●知識問題は兎にも角にも物量でカバー

漢字や語句知識（慣用句やことわざ、同音異義語など）に関しては毎年必ず出題される学校とそうでない学校に分かれます。たとえ第1志望校で出題されないとしても、併願校のために必要な場合はおろそかにせず、気合を入れて取り組むべきです。どの教科も勉強時間が増えてくると古い（＝最近勉強していない）知識は抜けていきがちです。受験を迎えるまで毎日アウトプットとインプットを繰り返しましょう。いきなり覚え直すのではなく、知識問題のまとまった問題集で最初に問題を解いてみて、できなかったところをもう1度覚え直します。

あと最近の入試で注意しておきたいのは外来語の出題が増えていることです。独立した大問でなくても、説明文中に登場している外来語の意味を問われる出題も目立っています。過去問演習で初めて目にするような意味のわからない外来語を見かけたら、ノートにまとめて知識として吸収してください。こうした日々の地道な取り組みが大きな花を咲かせます。

社会　時事問題のチェックに加え節目の出来事にも要注意！

●時事問題に取り組む時間を確保

今年も年明けに発生した能登半島地震や夏から秋にかけて各地に大きな被害を出した線状降水帯の発生による大雨など、災害の多い年でした。受験に出るから、という理由で勉強するのではなくこれから長く生活していく上で防災は常に考えていかなければいけないテーマです。「ハザードマップ」「霞堤」「キキクル」など、防災に関する用語知識を頭に入れておくことはもちろん、国や地域で被害を少なくするためにどういった対策が必要になるか考えをまとめておくことも大事です。上位校の記述問題で狙われやすいテーマです。

●2024の数字に着目した出題も

気にかけておきたいのは今年が節目の年にあたる出来事です。ざっと挙げておくと1224年北条泰時が執権に就いてから800年、1274年の文永の役（元寇）から750年、1324年後醍醐天皇が鎌倉討幕を企てた正中の変から700年、杉田玄白や前野良沢が解体新書を著してから250年、民撰議院設立建白書が左院に提出されてから150年、加藤高明、高橋是清、犬養毅らによる第2次護憲運動が起こってから100年、佐藤栄作がノーベル平和賞を受賞してから50年となります。特に今年は日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞していますので、佐藤栄作がノーベル平和賞に選ばれた理由についてもしっかり覚えておきましょう。

教務の現場から❼

●山のてっぺんには絶景が

朝晩冷え込んでくると、温まる食べ物が欲しくなります。今となっては膝を痛めてしまい難しくなりましたが、山登りに興じていた時期がありました。

神奈川県の丹沢山系に二日間の行程で出かけたときのこと。麓へ向かうルート途中の鍋割(なべわり)山荘という山小屋で鍋焼きうどんを食べようと誘われました。(丹沢に登りに来たなら必ず食べていけ、とまで言われる名物だそうです。)天気は快晴、重い荷物を下ろして熱々の鍋焼きうどんを頬張ると、甘めの味付けが疲れ果てた身体に染みわたります。空腹だったこともあり、あっという間におつゆまで飲み干して絶景を眺めながら食後の一服、最高のひと時でした。今でもその時の光景は目に焼き付いています。

6年生は間もなく勝負の時です。一人一人の「てっぺん」までもう少し、最後に心臓破りの坂が待ち受けているかもしれません。ただ、登り切った時に眼前に広がる絶景は人生の宝物になるはずです。さあ、最後の一踏ん張り、頑張れ受験生！　教務　奥野

学生は一切派遣していません

創立38年　中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

小6受験生へ　追い込みの勉強にお役立て下さい

◆ 冬休み直前 志望校対策コース ◆

【日程】入試までの期間中、ご希望の日時・回数と教科で受講いただけます。
【内容】直前の指導で結果を出してきた専門家庭教師による志望校対策です。
【費用】本コースに入会金（33,000円）は必要ありません。

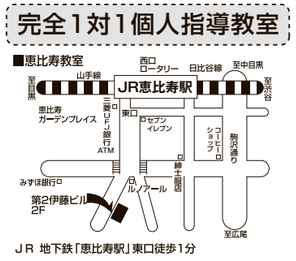
コース	6時間	10時間	14時間	20時間
指導料	54,450円	87,450円	119,350円	163,900円

※冬休み前からや年末年始の期間の受講もできます。また、オンラインでの受講も可能です。
※上記の指導料は税込です。別途、講師の交通費がかかりますが、その他の費用はありません。
※回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
※本コースに体験授業はありませんが、教務が責任を持って適任の講師を人選いたします。
※初回の授業終了後、予定回数分の指導料をご請求いたします。未消化の分はご返金いたします。

これまで7,000名を超える受験生の合格、支え続けてきた実績、お役立て下さい。

「成績を伸ばしたい、志望校に合格させたい」。このような家庭の要望に当会は創立以来、中学受験の〝専門家庭教師〟のみを派遣してお応えしてきました。中学受験のサポートは、ぜひ当会にお任せ下さい。

完全1対1個人指導教室



JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

5年生・4年生へ　新年度2月からの予約も受付中です

◆ 通常コースのご案内 ◆

◎指導料は月ごとの完全な後払いです
●入会金　33,000円（税込）　一家庭無期限有効（兄弟姉妹の方は必要ありません）
●指導料　月額52,800円～79,200円（税込）〈 週1回・各2時間の授業で月4回の場合 〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。　※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

◎体験授業で講師の指導力と相性をご確認下さい
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。
■万一の場合には、別の講師による再度の体験授業を受けられます。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から　0120-14-3004
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●携帯電話から　03-3440-1940
●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F